

徳島県の農林水産業の概要

特徴・取組

徳島県は、四国の東南部に位置し、山地が多く県土面積のおよそ8割を占めている。四国第2の高山である剣山（1,955m）を中心とした四国山地が県を南北に分け、県の北辺には讃岐山脈が走り、香川県との境をなしている。この両山地の間を縫って流れる吉野川（四国三郎）は、水源を高知県に発し、三好市池田町から東流するにつれ、広くくさび型となって農業の中心地帯である徳島平野を形成している。

産業構造は、県内総生産（名目・令和3年度）を産業別にみると、第3次産業が60.5%と最も高く、第2次産業が37.2%、第1次産業は1.5%である。また、就業者数（令和2年）においても、第3次産業が69.0%と最も高く、第2次産業が23.3%、第1次産業は7.7%である。

農業は、春夏にんじんをはじめ吉野川流域を中心にした野菜作や那賀川等の下流域での土地利用型農業が盛んである。また、ブロイラーが主体の畜産業も盛んである。林業は、高い人工林率（60%、全国9位、令和4年度）を背景に、徳島すざぎを中心に素材生産業や製材・加工業が盛んであるほか、菌床栽培を主体とした生しいたけの生産量が20年連続全国第1位（令和5年）である。水産業は、はもや養殖わかめの生産が全国有数であるほか、多種多様な水産物が水揚げされている。

持続可能な農林水産業の実現に向け、地球温暖化への適応策として、熱帯性果樹の栽培技術の開発や、水稻、スダチ、わかめ等の高温耐性品種等の普及に取り組んでいる。また、農業用水路などインフラ管理の省力化を可能とし、末端給水栓の遠隔操作などを実現する「スマート農業対応型基盤整備」を推進している。徳島県産品の展開として、生産から流通・販売までをサポートする「とくしまブランド推進機構」と連携し、実需者が求める品目に対応する「マーケットイン型」の産地育成、労力不足や生産拡大などの課題解決、園芸産地の更なる振興を図っている。また、同機構のネットワークを活用し、実需者への積極的な情報提供や市場調査等により県産農産物の販路拡大を推進している。輸出においては、新たな海外市場開拓や輸出型園地の育成等を進め、アジア、EU等へ「なると金時」、「阿波尾鶏」、「ハラル牛肉」、「ユズ」、「スダチ」など農林水産物の輸出拡大を図り、令和5年度の輸出金額は41.5億円（農林水産物加工品を含む）となっている。

主な農林水産物

にんじん

トンネル栽培で、春夏にんじんとして、吉野川市、藍住町、板野町を中心に生産されている。（収穫量全国3位）



ブロッコリー

徳島市、吉野川市、阿波市を中心に生産されており、京阪神地域を中心に出荷されている。（収穫量全国5位）



かんしょ

露地栽培で徳島市、鳴門市、松茂町を中心に生産されている。地域団体商標「なると金時」としてブランド化（収穫量全国5位）



れんこん

露地、ハウス・トンネル栽培により、徳島市、鳴門市、松茂町を中心に生産されている。白い色の特徴。（収穫量全国3位）



スダチ

露地、ハウス栽培で徳島市、阿南市、勝浦町、佐那河内村、神山町を中心に生産。「徳島すだち」がGI登録。（収穫量全国1位）



洋らん（切り花）

徳島市、小松島市、阿南市、阿波市を中心に栽培されている。京阪神地域を中心に、全国へ出荷されている。



ユズ（柚子）

美馬市、那賀町、つるぎ町等、中山間地域を中心に生産されている。「木頭（きとう）ゆず」がGI登録。（収穫量全国3位）



生しいたけ

菌床栽培が殆どで、徳島市、小松島市、神山町を中心に生産されている。全国の生産量の約11%を占める。（生産量全国1位）



肉用鶏

美馬市、三好市、勝浦町、神山町、美波町、海陽町、つるぎ町を中心に生産されている。「阿波尾鶏（あわおどり）」がGI登録。



わかめ（養殖）

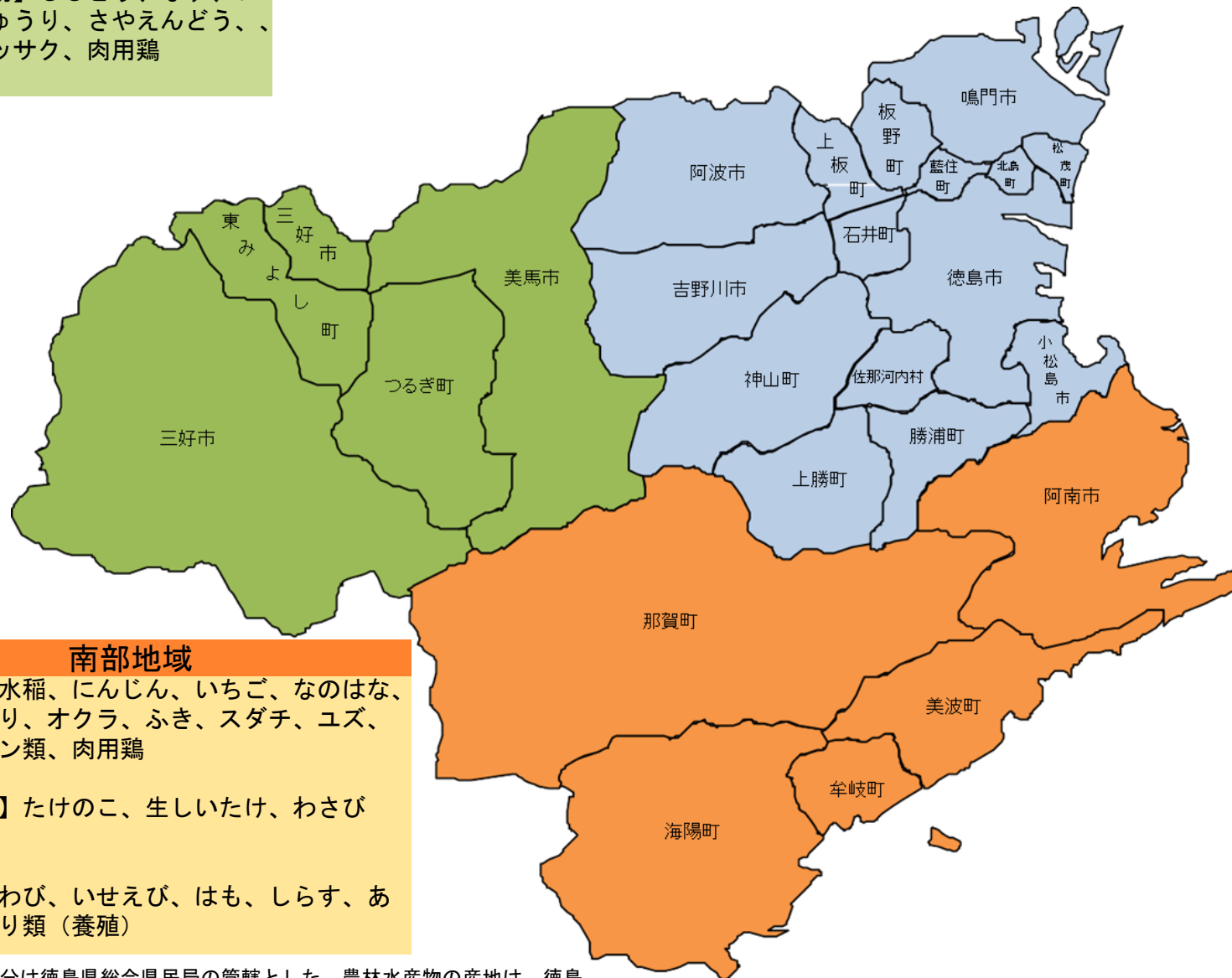
鳴門の激しい潮流で揉まれて育った「鳴門わかめ」は、しっかりとした歯ごたえと風味の良さが特徴。（収穫量全国3位）



徳島県内の各地域における農林水産物

西部地域

【農畜産物】ししとう、なす、レタス、きゅうり、さやえんどう、ゆず、ハッサク、肉用鶏



南部地域

【農畜産物】水稻、にんじん、いちご、なのはな、ねぎ、きゅうり、オクラ、ふき、スダチ、ユズ、みかん、洋ラン類、肉用鶏

【特用林産物】たけのこ、生しいたけ、わさび（葉柄）

【水産物】あわび、いせえび、はも、しらす、あおりいか、ぶり類（養殖）

東部地域

【農畜産物】かんしょ（なると金時）、にんじん、ししとう、カリフラワー、れんこん、なす、いちご、ほうれんそう、なのはな、レタス、ねぎ、ブロッコリー、らっきょう、だいこん、きゅうり、トマト、えだまめ、こまつな、オクラ、かぶ、さやえんどう、スイートコーン、しろうり、スダチ、みかん、ユコウ（注）、日本なし、洋ラン類、ゆり、肉用牛、豚

【特用林産物】生しいたけ、たけのこ、わさび（葉柄）

【水産物】たい、はも、しらす、あしかえび、のり類（養殖）、わかめ（養殖）、ぶり類（養殖）、あゆ（養殖）、うなぎ（養殖）

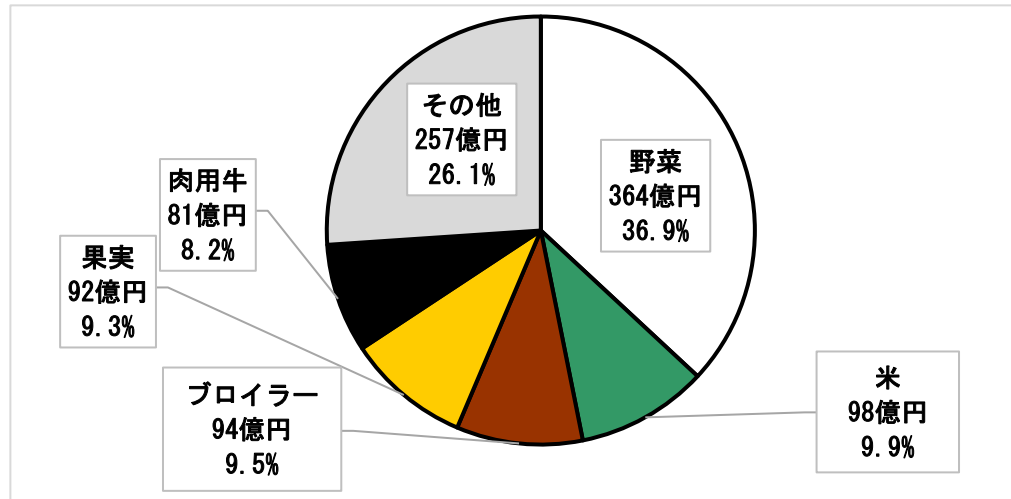
出典：地域の区分は徳島県総合県民局の管轄とした。農林水産物の産地は、徳島県HP及び徳島県立農業水産総合技術支援センターHPによる。

注：「ユコウ」は、ミカン科ミカン属に属しユズが自然交雑して出来たと言われている。

徳島県の農業（１）

- ・農業産出額は986億円で全国33位。うち米が98億円（9.9%）、野菜が364億円（36.9%）、畜産が296億円（30.0%）。
- ・農畜産物の生産状況は、スダチ、ユコウ、しろうりが全国１位、にんじん、れんこん、ユズ（柚）が３位、かんしょ、ブロッコリーが５位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分	年次	徳 島 県	全 国	全国順位	
かんしょ	収穫量	R6	26,000 t	717,000 t	5
にんじん	収穫量	R5	49,400 t	567,000 t	3
れんこん	収穫量	R5	4,780 t	56,200 t	3
ブロッコリー	収穫量	R5	11,900 t	171,400 t	5
洋ラン類（鉢もの）	出荷量	R5	277 千鉢	11,400 千鉢	9
ブロイラー	飼養羽数	R6	3,855 千羽	144,859 千羽	7 *
スダチ	収穫量	R4	2,360 t	2,417 t	1
ユコウ	収穫量	R4	242 t	242 t	1
ユズ（柚）	収穫量	R4	1,819 t	18,131 t	3
しろうり	収穫量	R4	3,800 t	4,810 t	1

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況」

農業産出額のデータ

区 分	徳島県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	986 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	33
米	98 億円 (9.9)	15,193 億円 (16.0)	40
麦類	x 億円	678 億円	- *
雑穀	0 億円	77 億円	40
豆類	0 億円	572 億円	44
いも類	80 億円	2,301 億円	6
野菜	364 億円 (36.9)	23,243 億円 (24.5)	22
果実	92 億円 (9.3)	9,590 億円 (10.1)	24
花き	38 億円	3,522 億円	31
工芸農作物	4 億円	1,467 億円	24
その他作物	x 億円	585 億円	- *
畜産	296 億円 (30.0)	37,212 億円 (39.2)	31
肉用牛	81 億円	7,696 億円	25
乳用牛	34 億円	9,249 億円	32
生乳	31 億円	8,310 億円	33
豚	40 億円	7,194 億円	31
鶏	140 億円	12,033 億円	24
鶏卵	39 億円	7,413 億円	36
ブロイラー	94 億円	4,471 億円	10 *
その他畜産物	2 億円	1,041 億円	25
加工農産物	1 億円	513 億円	32

出典：「令和5年農業総産出額及び生産農業所得（全国）」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得（都道府県別）」
注：（ ）は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「0」：単位に満たないもの（例：0.4t→0t）

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

徳島県の農業（ 2 ）

- ・耕地面積は2万7,200haで全国41位。うち田が1万8,800ha、畑が8,340ha。
- ・農業経営体数は1万4,568経営体で全国35位。うち法人経営体が293経営体で41位。
- ・市町村認定及び都道府県認定経営体数は1,845経営体で全国35位。うち法人数が235法人で40位。
- ・農業生産関連事業は、農産加工の年間販売（売上）金額が98億円で全国28位、事業体数は260事業体で40位。

耕地面積

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
耕地面積	27,200 ha	4,272,000 ha	41
田	18,800 ha	2,319,000 ha	39
畑	8,340 ha	1,952,000 ha	33
普通畑	5,030 ha	1,118,000 ha	30
樹園地	3,210 ha	248,600 ha	22
牧草地	103 ha	585,900 ha	36
参考）総土地面積	4,147.00 km ²	377,975.68 km ²	36

出典：「令和6年耕地面積（7月15日現在）」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」（国土交通省国土地理院）

荒廃農地面積

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	3,186 ha	256,676 ha	29

出典：「令和5年度の荒廃農地面積（令和6年3月31日現在）」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
農業経営体数	14,568 経営体	1,075,705 経営体	35
法人経営体	293 経営体	30,707 経営体	41
総農家数	25,119 戸	1,747,079 戸	34
販売農家	14,059 戸	1,027,892 戸	34
参考）世帯総数	308,210 世帯	55,830,154 世帯	44
集落営農数	23 集落営農	13,998 集落営農	41

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）、「令和6年集落営農実態調査結果（令和6年2月1日現在）」

担い手への農地の集積状況

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	7,972 ha	2,593,345 ha	41
集積率	29.0 %	60.4 %	37

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和5年度版）」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	19,186 人	1,363,038 人	31
男	11,012 人	822,144 人	34
女	8,174 人	540,894 人	28
65歳以上	13,779 人	948,621 人	34
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	71.8 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	1,845 経営体	216,784 経営体	35
法人数	235 法人	29,128 法人	40
参考）人口総数	719,559 人	126,146,099 人	44

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「認定農業者の認定状況（令和6年3月末現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 9,819 百万円 事業体数 260 事業体	999,786 百万円 27,760 事業体	28 40
農産物直売所	総額 14,700 百万円 事業体数 150 事業体	1,126,420 百万円 21,240 事業体	38 43
観光農園	総額 98 百万円 経営体数 20 経営体	37,281 百万円 5,050 経営体	46 41
農家民宿	総額 15 百万円 経営体数 10 経営体	5,352 百万円 1,140 経営体	37 * 26
農家レストラン	総額 313 百万円 事業体数 20 事業体	39,434 百万円 1,360 事業体	39 * 21

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

徳 島 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は106.4億円で全国13位。うち木材生産が37.3億円、栽培きのこ類生産が68.8億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国22位、生しいたけが全国1位、わさび葉柄が8位、たけのこが9位。

林業産出額

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
林業産出額	106.4 億円	5,562.5 億円	13
木材生産	37.3 億円	3,257.0 億円	23
栽培きのこ類生産	68.8 億円	2,199.2 億円	6

出典：「令和5年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
素材生産量	321 千m ³	20,647 千m ³	22
針葉樹	x 千m ³	18,926 千m ³	- *
すぎ	249 千m ³	11,917 千m ³	14
広葉樹	x 千m ³	1,721 千m ³	- *
たけのこ	生産量 325 t	16,528 t	9 *
生しいたけ	生産量 7,200 t	63,374 t	1
わさび葉柄	生産量 10 t	1,028 t	8 *
木質粒状燃料	生産量 497 t	158,646 t	23 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
林野面積	313,071 ha	24,770,201 ha	29
国有林	16,607 ha	7,153,338 ha	34
民有林	296,464 ha	17,616,863 ha	25
人工林面積	189,848 ha	10,133,111 ha	23

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
林業経営体数	264 経営体	34,001 経営体	37
法人経営体	24 経営体	4,093 経営体	42

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
製材工場数	74 工場	3,749 工場	26
製材用素材の入荷があった工場数	74 工場	3,722 工場	26
国産材のみ	67 工場	3,116 工場	22
国産材と輸入材	7 工場	511 工場	27

出典：「令和5年木材統計」

徳島県の漁業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は119億円で全国32位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のいせえびが全国4位、しらす6位、海面養殖業のわかめ類が3位、かんぱちが7位。
- ・漁業生産関連事業は、水産加工の年間販売（売上）金額が35億円で全国12位、事業体数は30事業体で10位。

漁業産出額

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	119 億円	15,265 億円	32
海 面 漁 業	65 億円	9,534 億円	30
海 面 養 殖 業	54 億円	5,731 億円	20

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	1,105 経営体	65,662 経営体	23
内水面漁業経営体数	97 経営体	4,076 経営体	12

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	1,636 人	121,389 人	25
男	1,513 人	109,757 人	25
女	123 人	11,632 人	18

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
漁船隻数	1,890 隻	109,283 隻	23
動力漁船	946 隻	58,906 隻	25

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	17,857 t	3,777,921 t	31 *
海面漁業漁獲量	9,313 t	2,926,411 t	35
しらす	2,881 t	50,303 t	6
いせえび	90 t	1,090 t	4
海面養殖業収獲量	8,544 t	851,509 t	21 *
かんぱち	344 t	24,658 t	7 *
わかめ類	3,713 t	49,588 t	3 *
内水面漁業・養殖業生産量	353 t	51,908 t	19 *
内水面漁業漁獲量	30 t	21,567 t	22 *
あゆ	25 t	1,697 t	10 *
内水面養殖業収獲量	323 t	30,341 t	13 *
うなぎ	183 t	18,341 t	7 *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	徳 島 県	全 国	全国順位
水産加工	総額	3,484 百万円	179,159 百万円 12 *
	事業体数	30 事業体	1,220 事業体 10
水産物直売所	総額	306 百万円	34,988 百万円 26 *
	事業体数	10 事業体	810 事業体 20
漁家民宿	総額	x 百万円	5,389 百万円 - *
	経営体数	0 経営体	540 経営体 29
漁家レストラン	総額	x 百万円	13,249 百万円 - *
	事業体数	10 事業体	380 事業体 8

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

徳島県の農林水産業の話題等

「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画」の策定

「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画」は、徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本条例第10条の規定に基づき、県農林水産業施策の総合的な運営指針として策定。

現計画は、第5期計画として、令和7年4月から向こう5年間を期間として、令和7年3月に策定された。

計画の基本理念

「未来に引き継げる農林水産業・農山漁村の実現」を目指す。

基本戦略 ～自給力の強化～

気候変動や地政学的要因による食料安全保障リスクの増加、人口減少や高齢化による労働力の不足や国内消費の縮小等、農林水産業を取り巻く状況が厳しさを増すなか、徳島県の農林水産業を、魅力あふれる持続可能な産業として次代へ継承するため、食料等の生産の「自給力強化」に向けた「4つの力」の強化に取り組む。

戦略Ⅰ「はたらく力」の強化

農林水産業従事者の大幅な減少が見込まれる中、農林水産物の安定供給や、農山漁村における地域コミュニティの維持を図るため、新規就業者はもとより、外国人人材等の多様な働き手の育成により、農林水産業の次代を担う人材を確保する。

戦略Ⅱ「つくる力」の強化

食料安全保障の強化に加え、持続可能な生産や海外市場をも見据えた産業へと転換していくため、経営の大規模化、生産施設等のスマート化、新技術の実装等を加速し、高い供給能力と収益性を兼ね備えた「産地づくり」を推進する。

戦略Ⅲ「売る力」の強化

新たな「地域商社」である「（公社）徳島県産業国際化支援機構」を核として、県産農林水産物等のブランド力・発信力を強化し、国内・海外への販路を拡大するとともに、食文化や観光と一体的なプロモーションの展開や、地域資源を活用した農山漁村の活性化に取り組む。

戦略Ⅳ「農山漁村の防災力」の強化

切迫する南海トラフ巨大地震をはじめとした危機事象に備え、生産基盤の防災対策等により、安全安心と食料供給能力の確保に向けた農山漁村の強靱化を推進する。

計画期間

令和7年度を初年度とし、令和11年度までの「5年間」。

※計画期間中に必要に応じて見直しを検討する



地域商社
「公益社団法人 徳島県産業国際化支援機構」
の設立



シンガポールでの県産品フェアの開催



かんきつアカデミー（栽培管理実習）の様子